

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連		-	-	-
(四国)		商店街（代表者）	来客数の動き	・毎週土曜日に行うイベント効果により、かなりの人出でにぎわっている。土曜の夜から日曜日にかけて観光客も入っており、来街者が大きく増えている。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・土曜日に夜市が開催されていることから、週末は人通りが多い。来店客は少し増えているが、見るだけの人や、安価な商品が売れているだけ。景気が回復しているのではない。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・来客数は減っているが、売上は前年を上回っている。客数の減少を客単価の増加で補っている。
		コンビニ（商品担当）	販売量の動き	・猛暑の影響で、冷たい飲料やアイスの動きが非常に好調。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・販売実績は今のところ前年を上回って推移している。前年に比べリコールが減っている事もあって収益は前年には及ばないが、おおむね順調に推移している。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・6月の受注状況から悪くなるとみていたが、月初から受注台数が予想を上回っている。販売量（届出台数）は、前年比15%程度上回る見込み。
		競輪競馬（マネージャー）	販売量の動き	・注目のレースが開催されたことから、売上高50%増、来場者数も約60%増加した。
		設計事務所（所長）	単価の動き	・建築の単価が、ここ1、2か月で急に上昇している。
		商店街（事務局長）	来客数の動き	・春には通行量が大幅に増え、今も来街者は多く活気があるが、6月以降は外国人観光客の伸び率が鈍化している。消費マインドは上昇傾向にあるものの、全体的には慎重で堅実な買物行動にある。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・年々、お中元商品の売上が減少している。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・企業の経費削減が徹底されているように見受けられ、書籍や雑誌がその対象になっているようだ。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・6月のセール前倒しの反動で衣料品がマイナスになった。近隣にショッピングセンターがオープンした影響で食品の不振が続いており、堅調を続けていた高額品も前年を下回った。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・近隣に競合店が出店したことなどから、来客数の減少が顕著になっている。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・天候や気温は今年のほうが良いのに、来客数は前年と変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	競争相手の様子	・4月末にオープンした複合商業施設の影響なのか、前年と比べて景気は低迷しているように感じる。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・景気は変わらないが、業種によって良い悪いがはっきりしているのでは。特に小売店では、ネット通販に押されて来客数が減少している。当店も販売量、来客数共にかなり減っている。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・売上は前年並みで推移しているが、中旬以降は天候不順もあって来客数が落ちている。高額品の動きも鈍く、客単価が伸びない。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・整備での来店を積極的に勧めていることもあって、県内店舗の来客数は増加傾向にある。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・地元の温泉ゆかりの人物の生誕150年イベントにより宿泊客は増えているが、周辺に取壊している旅館がいくつかあり、温泉地全体の宿泊人員がやや増えている程度。
		都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・利用客が若干増えているものの、客単価は上昇しない。
	旅行代理店（営業部長）	お客様の様子	・法人部門（営業）は横ばいだが、個人部門（インターネット）は好調である。店頭の不振が続いている。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・乗客の話では、夜の街へ繰り出す頻度が少ないそうだ。日中は、買物より通院目的の客が多い。	
	通信会社（支店長）	来客数の動き	・来客数に大きな変化はない。	
	美容室（経営者）	お客様の様子	・定期的に来店される既存客が多く、新規の客は少ない。	

	商店街（代表者）	お客様の様子	・4月オ・プンの商業複合施設は想定外の苦戦を続けている。消費者はなおデフレ感覚が強く、購買手段の主力はネットへと移行している。順調だったコンビニも伸びず、今はドラッグストアが主役になっている。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・客単価は減少し、商品やサービス内容に対する客からの要求が過剰気味になっている。
	スーパー（財務担当）	お客様の様子	・土用の丑の日の売上は好調だったものの、ハレの日以外の平日は節約志向が強く依然苦戦している。アサキス報道により、特に鮮魚が苦戦している。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の受注は前年を5%程度下回って推移している。
	その他小売 [ショッピングセンター]（副支配人）	来客数の動き	・競合店のオープンの影響から、週末を中心に来店客数が減少している。
	通信会社（技術）	販売量の動き	・当社独自サービスの解約数の多さが少し目立つ。
x	コンビニ（店長）	販売量の動き	・売上、来客数共に回復の兆しは無い。
x	タクシー運転手	来客数の動き	・夏季はお遍路客が減る。街中だけでは厳しい。今夏も暑く、それなりに乗客はいるが、売上は増えていない。
企業 動向 関連 (四国)	-	-	-
	食料品製造業（商品統括）	競争相手の様子	・得意分野への投資集中が功を奏し、他社では利益率アップが安定している。
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・梅雨明けと共に気温が急上昇し、小売店での夏物の売行きが良くなっている。弊社でも春夏向け商品を十分に在庫を確保していたこともあって、売上は好調である。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・海外向けの商品受注が増加してきている。製造設備の改造が一段落し、生産も上昇している。
	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・産業用機械（自動車関連）の大型鍛圧プレス機2台分の鋳鋼品受注を獲得。主力造船関連は変動ないが、当月若干受注増となった。
	輸送業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・周りの環境が良いと感じる。
	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・あくまで季節要因だが、夏場の飲料系の販売が増えた。
	農林水産業（職員）	取引先の様子	・卸売市場の変化は少なく、量販店は相変わらず利益追求主義で、消費者はこの暑さから冷たい飲料や火を使わない食材・料理を求めている。青果物の販売環境としてはあまり良くない環境にある。
	木材木製品製造業（資材購買）	受注量や販売量の動き	・政治・外交共に明るい話題がなく、消費が上向く要因は少ない。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・お陰さまで太陽光発電設備が好調で、現状維持を保っている。
	電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・販売量は3か月前と変わらず、事業環境にも変化はみられない。収益面でも3か月前と同程度。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今年上半期の公共事業発注は想定通りだった。受注量に大きな変化はない。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず仕事が少なく、受注が伸びない。
	金融業（副支店長）	取引先の様子	・取引先企業の決算資料によると、業種によるやばらつきは見られるものの、総じて前年並みの業績（売上、利益、CF）を維持・確保している企業が多い。
	公認会計士	取引先の様子	・顧客の試算表・決算書を分析した結果、前年とほぼ同じであった。
	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・閑散期の夏場は、物量が減少する。この閑散期に他社は安価な運賃で受託し、荷主・運送業者双方が少しでも採算性を向上させて利益を確保しようとする動きがみられる。
x	-	-	-
雇用 関連 (四国)	-	-	-
	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・派遣スタッフの登録が前年を上回り、かつ即日稼働希望者が多い。
	人材派遣会社（営業）	求職者数の動き	・就職活動の第一次ピークが過ぎ、これから第二次へ移る。この時期を、公務員試験など安定した職を目指す若者たちがどう判断するかによって、年度末までの求職者の動きが変わる。

	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・人手不足感から採用意欲の高い企業は多いが、人件費抑制も続いている。
	民間職業紹介機関（所長）	それ以外	・前年と比べて、普通科系高校の求人数は伸びていないが、実業系高校はかなり伸びているようだ。企業は、電気・機械系の学生を喉から手が出るほど欲している。
	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・生産工場の求人数が前年同期より減っており、派遣社員の就労数も減少傾向にある。
	求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・深刻な人手不足が継続中。特に、福祉・運輸・サービス業・建設などで顕著。残業等で対応しているが、残業時間の縛りも厳しくなり、各企業とも疲弊している。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・広告ではマスメディア4媒体が前年より厳しい感触がある。
	職業安定所（職員）	それ以外	・6月の有効求人倍率は1.36倍、3か月前比0.09ポイント下降している。
	x	-	-